

平成26年5月度定例自然観察会報告書

六甲山自然案内人の会

実施日 : 平成26年5月11日(日)

天候 : 晴

担当 : 3班

テーマ : とっておきの新緑の道

参加人員 : ビジター43名 会員30名 合計73名

コース : 新神戸～市ヶ原～大龍寺～猩々池～二本松林道～平野谷～五の宮神社

配布資料 : 冊子“とっておきの新緑の道”(コースマップ・名所の説明・植生リスト)

タイムスケジュール(実績)

09:00 受付・班分けして布引下の広場まで誘導

09:20 広場で挨拶・オリエンテーション、全員ストレッチ体操(担当中村)

09:30 出発

11:10 市ヶ原にてトイレ休憩

11:50 大龍寺

12:10～12:40 猩々池にて昼食

14:10 平野谷下り口

15:00 最終ミーティング・観察したことの復習後解散

1班(14名):中島・龍田・サポート武川 2班(14名):岡・田中・サポート品川

3班(15名):富井・大坂・サポート久保順 会員班A:松本 会員班B:福本

概要 : 新神戸駅1階バス停前に集合、受付しその場で班分けした人から順次布引下の広場まで誘導しました。受付時は多人数で混乱しましたが、このあと広場から予定どおり出発し、タイムロスはありませんでした。

今年は蛾の幼虫が大発生し、コースの至る所でみられました。手すりには幼虫がいて触れずに登る場所もあり幼虫のブランコが目の前にぶらさがっていてよけても振り払ったつもりでも頭・衣服にとまっていることなんどもありましたが毛虫がついたと騒ぎたてたりする人はおられなかったようでした。

晴天の休日でもあり多数の登山客で賑わい滝道では立ち止っての説明は渋滞してしまうので早々に次のポイントへと進まざるを得なかった。4つの滝の総称「布引の滝」あたりではウラジロウツギが可愛い白い花を誇っていた。ウツギの開花はもう少し先のようでした。堰堤の下ではノグルミ・シナサワグルミ・オニグルミの3兄弟があり、そしてタツナミソウを見ながら階段を上り布引貯水池に着き一息をついて、ヤマブキ・カツラ・ケヤキ・ユリノキの大木・アケビ・ミツバアケビ・ムベの花などを観ながら市ヶ原で休憩後川原を渡って広い舗装道路をケハンショウヅル、コバンソウ、タネツケバナ、ケキツネノボタン、キランソウの草花を観ながら大龍寺に着きました。境内にはスダジイが数本、マザーツリーはどれかなと捜しながらこれらの大木の太さ、樹形をそしてこれらの樹冠が空を埋めてるのを眺めた。極相林が広がる再度山を横目に猩々池で昼食としました。途中、ギンランが静かに咲いていたのが印象的でした。

二本松林道は森の中にある広い道路ですが、すれ違う人はいませんでした。この周辺はモミジの名所のようで、今は若葉が薄緑色で一番きれいな時期であると感じました。フィトンチッドを感じながら、静寂のなかを野鳥と観察リーダーの声が響きキベリハムシの食草のサネカズラ、枝が赤紫色で白い装飾花が美しいコガクウツギが見ごろ迎え又、群生しているり色のホタルカズラを観ることができました。ツルカノコソウ、シャガ、ノイバラなども咲いていました。

平野谷を下る。ここではこれこそ垂れ下がったカズラ(ツル草状)にホタルカズラの花が付いているのが

観えた。テイカカズラの長い果実内の白い綿毛と今咲いてる花を説明。眼下に平野浄水場が全面に神戸市内が見えてきて、ゴールの五の宮神社にほぼ予定通りに到着しました。現地で本日観察したことを復習をしてミーティングの後解散しました。

